



# エコ・ファーストの約束(更新書)

— 環境先進企業としての地球環境保全の取組 —

環境大臣 中川 雅治 殿

平成29年10月2日

株式会社LIXIL  
代表取締役社長 瀬戸 欣哉

株式会社LIXILとその子会社は、技術革新による低炭素や節水等の「製品・サービスによる環境貢献」を高めるとともに、原材料調達から製品廃棄までの「事業プロセスでの環境負荷」を減らすことで、豊かで快適な住生活の未来に貢献します。そのために、以下の取り組みを進めます。

## 1 製品・サービスのライフサイクル全体での環境影響を評価し、住生活の質の改善や、水危機や気候変動をはじめとした環境課題の解決に貢献する製品及びサービスの開発と普及に取り組みます。

- 高性能な断熱サッシ・ドア、節電・節湯機能を高めた水まわり製品などの開発・販売により、家庭・オフィスビル等の民生部門におけるCO2排出量の削減に貢献します。LIXILの製品・サービスによるCO2排出量の削減を推進し、2020年度までに2015年度比で1.4倍にします。

## 2 あらゆる業務において環境配慮型のオペレーションを実践し、持続可能な資源の利用、エネルギーや水の効率的な利用、廃棄物や化学物質の適正な管理・削減などに取り組みます。

- 事業所でのCO2排出量（スコープ1、2）を2020年度までに2015年度比で8%削減します。また、原材料の調達、製造、製品の使用・廃棄まで、あらゆるプロセスにおけるCO2排出量の削減に努め、バリューチェーン全体のCO2排出量（スコープ1、2、3）を2020年度までに2015年度比で8%削減することを目指します。
- 輸送時における積載効率の改善やモーダルシフト等を推進し、日本国内の輸送におけるCO2排出原単位を2020年度までに2015年度比で5%改善します。
- 廃棄物等の再資源化を推進し、2020年度までに日本国内のリサイクル率95%以上を目指します。
- サプライチェーン全体での環境負荷を低減するため、サプライヤーに対しても、持続可能な原材料調達の浸透、環境負荷低減や情報開示の働きかけや協働を推進します。
- 生産事業所における水使用状況や水質に関わる規制などの水リスクを調査し、優先度の高い事業所を特定し、水使用効率の改善活動を実施します。

## 3 企業市民としてステークホルダーと相互理解を深め、地域社会に参画し協働します。

- 全国の事業所で地域の方々との関係性をつくる「コミュニティ・ダイアログ」を開催し、地域社会に参画・協働していきます。
- 水の大切さを伝える「水から学ぶ」、衛生的なトイレの重要性を伝える「トイレが世界を救う」、すべての人のための「ユニバーサルデザイン」といった3つのオリジナル出前授業を小学校に社員が出向いて継続的に実施します。

株式会社LIXILは、上記取組内容の進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告いたします。

**LIXIL**  
Link to Good Living